

会議録要旨

会議の名称	令和7年度第5回 霧島市水道事業及び簡易水道事業並びに工業用水道事業運営委員会
開催日時	令和7年12月4日（木曜日）13時30分から
開催場所	隼人市民サービスセンター2階会議室
出席委員数	8名（10名中）
事務局	秋窪上下水道部長、川畠上下水道総務課長、蔵原上下水道総務課主幹、桐原上下水道総務課主幹、佐々木上下水道総務課主任主事、養田水道工務課長、岩元水道工務課主幹
次第	<p>1 開会 2 議事 (1) 会議録（11月20日開催分）の承認 (2) 意見書 3 その他 4 閉会</p>
会議の経過	<p>2 議事</p> <p>(1) 会議録（11月20日開催分）</p> <p>会議録（11月20日開催分）は、質疑・意見なく、全会一致で承認された。</p> <p>(2) 意見書</p> <p>委員長から説明を行う。主な質疑・意見については以下のとおり。</p> <p>(質疑) 市民生活支援についてはどうか。</p> <p>(回答) 令和7年11月21日に閣議決定された「強い経済」を実現する総合経済対策において、重点支援地方交付金の拡充が図られた。交付金の活用方針については、市全体として今後検討していく。市民生活支援に関する要望を附帯意見として付すことは可能である。</p> <p>(意見) できれば附帯意見に加えてほしい。</p> <p>(質疑) 通増度を1.4倍へ見直すに当たり、企業等の大口利用者への配慮を表現できないか。</p> <p>(回答) 通増度の引き上げは、大口利用者に過度な負担を生じさせるおそれがあることから、原則として避けるべきである旨を記すなど、表現のバランスを図りたい。</p> <p>(質疑) 附帯意見に「水道事業と簡易水道事業の統合」「資金運用の最適化等」を例示した理由は何か。</p> <p>(回答) 「水道事業と簡易水道事業の統合」は第2回運営委員会での意見を、「資金運用の最適化等」は第4回運営委員会での意見を</p>

	<p>それぞれ踏まえたものである。「収入確保及び支出削減の取組方針」に基づき、様々な取組を行い、経営改善の一層の推進に努めたい。</p> <p>(意見) 国分台明寺配水区関連事業以外にも、今後大規模事業の実施が必要になるとのことだが、事業計画の段階で、水道料金改定の必要性について市民周知を行ってほしいがどうか。</p> <p>(回答) 経営戦略は3~5年ごとに改定することとされている。今後の大規模事業の実施に当たっては、そのつど経営状況を判断し、水道料金の見直しが必要と考えられる場合には、十分な市民周知に努めたい。</p> <p>(意見) 将来的な大規模更新には多額の費用が必要であり、更新時期より相当前から内部留保を貯めておく必要がある。</p> <p>霧島市はアセットマネジメント、新水道ビジョン、経営戦略において、中長期的な計画を示せているものと評価する。</p> <p>●「意見書」に対する委員会としての取りまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 附帯意見として、市民生活支援のため、市として物価高騰対策をしっかりと進めてほしい旨を記載することとしてよいか。 ② 過増度の見直しについて、企業等の大口利用者へ過度な負担を生じさせるべきでないという原則と、一般世帯等の小口利用者への平均改定率を抑制する必要性を総合的に勘案したものである旨を記載することとしてよいか。 ③ 上記を反映した「意見書」の作成を委員長一任とすることとしてよいか。 → ①~③のいずれも異議なし。 <p>3 その他</p> <p>今回の会議録の承認について、委員長一任とすることとしてよいか。 → 異議なし。</p>
写真	